

# まち協だより

平成21年12月20日(日)

No.6

発行 菩提寺まちづくり協議会 事務局 菩提寺まちづくりセンター内 Tel:0748-74-3471  
発行責任者 事務局長 栗津寛三

## 第21回菩提寺学区親善ソフトボール大会

# イワタニランドチームが優勝



### 人づくり委員会

11月8日(日)菩提寺まちづくり協議会主催のソフトボール大会を9時より開催しました。

絶好の秋晴れで汗ばむほどの天候に恵まれ、成功裡に終わりました。

今年の参加チームは昨年より1チーム増え、12チームのトーナメントで争われ、決勝は近江台 4対6 イワタニランドで、イワタニランドが勝ち、優勝しました。

その他の結果、準決勝は



模型電車を愛する人々

近江台 6対3 みどりの村A、  
イワタニランド 10対6 北山台A

3位決定戦は、みどりの村A 2対3 北山台A

今年は安全環境委員会のご協力で豚汁の炊き出しを初めて行い、その美味しさに大いに舌鼓を打ちました。

### まちづくりセンターまつり

昨年は紙飛行機を作り飛ばしましたが、今年は三上台区の饗庭さんのご協力により模型電車(Nゲージ)を運転して遊んで頂きました。運転するコツを覚えた子供達はその場を離れず、半日近くいた子供もいました。ブルートレイン、特急電車(雷鳥)、新快速電車を交互に走らせて楽しそうでした。



大好評の炊き出し現場

### 安全環境委員会

ソフトボール大会で豚汁の炊き出しを実施しました。用意した食数は300人分。

当日は天気が良く、というよりも良すぎて暑いくらいで、これだけ暑いとみなさまに食べて来ていただけるかが非常に心配

でした。しかし、実際には、そんな心配をよそにどんどん売れていきました。結局うどんも含めて、300人分用意した食材は、ほぼ完食となりました。今回は、ただ豚汁を作って食べていただくことが目的ではなく、災害時に炊き出しを実施するときの基礎データの収集が目的でしたが、その目的は達せられたと思います。来年も炊き出しを実施する予定にしていますが、そのときはもっと手際よく実施して行きたいと考えています。

### 火災警報器の購入斡旋

火災警報器の申し込み、ありがとうございました。

今年中には、安くて安心な製品をお届けできると思います。購入後は、出来るだけ早い時期に取りつけてくださいますようお願いいたします。

### 文化芸術委員会

去る11月14、15日に開催されたまちづくりセンターまつりの場をお借りして「歴史の小径」の紹介、看板「菩提寺史跡散策マップ」と菩提寺の史跡を冊子にした「菩提寺史跡散策ガイド」を発表しました。

「歴史の小径」はまちづくり協議会の全体活動として毎月第4日曜の午前10時から2時間程度の清掃活動を続けていますが、その初回6月8日に行った小径づくりの際に掘り起こされた石仏の据え置き、排水工事、階段工事、竹の笕づくり、小径の清掃作業と現在の「歴史の小径」の状況を道順に沿った形で写真で紹介しました。



看板「菩提寺史跡散策マップ」のお披露目



14日に行われた「歴史の小径」ツアー

これまでの新聞紹介やインターネット記事、ホームページによる紹介、湖南市の生涯学習情報誌「ルネッサンス」による紹介もあり地域外からの訪問者も増えて認知度も高まりつつあり、当日には清掃活動の協力申し入れを頂くなど今後の植樹などの活動にも弾みがつきました。

看板「菩提寺史跡散策マップ」は菩提寺北小学校の総合学習の成果のひとつである史跡絵をお借りして、それを原画とした縦



1m×横2mの大きさの史跡散策マップとしてまちづくりセンター駐車場のバス停付近に設置しました。駐車場側と道路側に各1面の看板です。

冊子「菩提寺史跡散策ガイド」は同じく菩提寺小学校の総合学習の成果をA5サイズの冊子として発表しました。

「菩提寺史跡散策ガイド」はまちづくりセンターにて配布しています。センターまつりでは両



家庭で出来るエコ社会実現化への小さな一歩

小学校の原画を集めた原画展を行い、多くの方に子供の発想や表現力にも親しんでいただきました。

「菩提寺史跡散策マップ」を見て菩提寺の史跡のおおよその場所を掴んでいただき、「菩提寺史跡散策ガイド」を手に、小学生が勉強している菩提寺周辺の歴史の一部に親しんでいただければ幸いです。

## 地域活性化委員会

地域活性化委員会では、「ダンボール箱と腐葉土・米ぬか」を利用した生ごみのリサイクルに取り組んでいます。

「80%が水分」の生ごみは大変燃え難く多くの化石燃料を燃やし、大きなコストをかけて可燃物処理をしています。生ごみのリサイクルは、ゴミの減量化を図り、二酸化炭素の排出量の削減をすると共に、リサイクルで発生する良質の堆肥は、家庭

菜園や農地への再利用を推進し、地産地消・地域循環型のエコ社会が実現できます。

11月14日、15日のセンター祭りでは、生ごみリサイクルのモニター募集の説明会を開催しました。モニターに参加していただきました皆様ありがとうございます。現在約80名の方々がリサイクルに取り組んでおられますが、モニターの皆さんからは「良い堆肥ができた」「ゴミ袋の使用量が半減した」などのご意見をいただきました。今後もっと多くの皆様と一緒に、リサイクル活動を継続したいと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。これからも定期的に募集を行えるよう検討しておりますので、機会があればぜひあなたも「生ごみリサイクル」にチャレンジしてみませんか！参加をお願いいたします。

## 暮らし支え合い委員会

昨年皆様のご協力でコミュニティバス（以下コミバス）と野洲路線について、ご意見・ご提案やご要望を頂き、アンケート調査報告書にまとめました。

田中会長や圓山学区長の同行を頂き、谷畑市長と滋賀バス隠岐社長を各々訪問し、報告書の主旨を説明し、手渡しました。

早速、野洲駅発22時03分（改正前21時19分）と改定が出来ました。

現在、アンケートをもとに、より利用し易いコミバスの実現を目指し、市・バス会社・まち協で意見交換を進めております。

また、私達が積極的に利用する事で、より利用し易いコミバスの実現を目的に、コミバスに限定した二回目のアンケート調査を行いますので、ご協力を宜しくお願い致します。

皆さんのより一層のコミュニティバスのご利用をお願い致します。

9月に石部ボランティアセンターの岡島さん（サイドタウン区）に「ボランティア活動状況について」、10月には湖南市甲西赤十字奉仕団の松本さん（近江台区）・広嶋さん（みどりの村区）に、活動内容や運営方法について講演をして頂きました。

これからの超高齢化時代に多くの方々が、生きがいを持って元気に健康で暮らせる地域の実現を目指し「暮らし支え合い委員会」は活動を行って参ります。

今後ともご支援ご協力をお願い致します。

菩提禅寺 住職 安部 正毅師

廃少菩提寺跡石仏は古くから仁治2年銘の多宝塔と共によく知られ、近江の史蹟や文化財を記した本には必ず出ている程有名なもので、故川勝先生の著書「近江」の中にも記されている。

つぎに下方入口近く、3体の地藏立像がある。何れも無銘である。

今回はそれより少し山に上がった処にある閻魔王について語ろう。

4体の像を一石に彫った石仏である。右方約四分の一は後補部分で、全然刻銘はない。元の部分にはよく見ると処々に刻銘はある。

「石像遺品 第九集」に記されている銘文には、菩提寺

浄西院秀阿弥陀仏行大徳宗舜敬白』と書いてある。さらに念のため『近江の石仏』に記されている銘文を見ても殆ど同文で、ただ「浄」と「律」が異なっているだけである。一寸見ても読めないで拓本をとって調べた結果、上段中央の閻魔王の上部枠の右から横に「観音寺」の3字があり、上段左側の如来

形仏像の上部に「バク」と推定される梵字がある。また下段の中央にある銘文は

西妙阿弥陀仏

権大僧都宗□法印

と彫っており、左端に宗林禅定門とハッキリ読める文字が浮かんできた。

これから考えると両著にはどちらも銘文は下段のみにあると書かれているが、最初の「菩提寺」の3字はどうも閻魔王の上部の枠の文字を過って読んだものと思われる。

閻魔王には「菩提寺」「津西院秀阿弥陀仏行大徳宗舜敬白」、背面には「延長二年甲申」と彫ってあったというがいまは判読出来ない。

閻魔王像は、向かって右肩の上方より縦に割れている。この傷は時期こそ分らないが、石像がうつむき加減に倒れていたの、ただの石だと思った石屋さんが割ったところ、自分の身体が動かなくなった、という逸話が残っている。

今回は多宝塔と3体の地藏菩薩のお話をしたいと思います。



## 編集後記

先日、学区の親善ソフトボール大会で、豚汁の炊き出しが行われました。汗を流した後、あらゆる年代の方々が肩を並べて美味しそうに食べておられる姿を見て「人のつながり」の大切さを痛感しました。10年前、結婚と同時に引っ越してきて右も左もわからず途方に暮れていた時、私を救ってくださったのは、ご近所の方々の暖かく頼れる存在でした。地の情報をはじめ、料理、子育てに至るまで新米ママの私にとっては、本当に心強い存在でした。「人は一人で生きては行けません。だからこそ周りの人達と支え合い優しい心の輪を広げていきたい」その為に「まち協」として何が出来るかを考えながら活動していけたら、と思います。(E.N)

